

- 問1 縄文土器と比べて薄くて硬いという特徴があり、弥生時代に使われるようになった土器は何ですか。
- 問2 645年に中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏をたおし、天皇を中心とする国づくりを始めた政治の改革を何と  
いいますか。
- 問3 大和朝廷は、どのような人々が連合してつくった、強大な力をもつ国ですか。
- 問4 寝殿造は、どのような人たちが住んだ大きなやしきの建築様式ですか。
- 問5 平安時代にえがかれた「大和絵」は、どのようなものを題材にしていますか。
- 問6 古墳の内部にある石室には、遺体と一緒にどのようなものが納められましたか。
- 問7 群馬県で発見された「岩宿遺跡」は、日本の歴史の区分において、何時代の遺跡ですか。
- 問8 古墳時代に大和朝廷の王であった「大王」は、のちにどのような立場の人にあたりますか。
- 問9 聖徳太子らが定めた冠位十二階は、それまでの家柄にとらわれず、どのようなことを基準にして役人を取り  
立てるためのしくみですか。
- 問10 603年に定められた、家柄に関係なく、能力や功績のある人を役人にとりたてるための12段階の位のしくみ  
を何といいますか。
- 問11 奈良時代の役所や遺跡からたくさん見つかっている、荷物につけられた「木の札」のことを何といいます  
か。
- 問12 奈良時代につくられた、日本で最も古いとされる和歌集の名前は何かですか。
- 問13 都の貴族から、地方の政治を任された地方の役人のことを何といいますか。
- 問14 邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏に使いを送ったことによって授けられたものは何かですか。
- 問15 平安時代を代表する随筆（ずいひつ）である「枕草子」を書いた人物はだれですか。
- 問16 平清盛が平氏の守り神としてあつく信仰した、広島県廿日市市にある世界遺産に登録されている神社はどこ  
ですか。
- 問17 石を打ちかいてつくった石器で、旧石器時代に使われていたものは何かですか。
- 問18 青森県にある三内丸山遺跡は、どのような遺跡ですか。
- 問19 聖武天皇が東大寺に巨大な大仏をまつた、一番の目的は何だと考えられますか。
- 問20 縄文時代に作られた、土で作られた人形のことを何といいますか。
- 問21 古墳時代に、大和朝廷を率いていた王のことを何とよびますか。
- 問22 天皇を助けて政治を行う役職のことで、推古天皇のときに聖徳太子が就いたものは何かですか。
- 問23 国風文化は、どのような人々を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化ですか。
- 問24 昔の税制度である「租」が、当時の国にとってどのような役割を果たしていたといえますか。

## 答え合わせ・解説 No.6

問1	答え 弥生土器	弥生時代に使われるようになった、縄文土器よりも薄くて硬い土器を弥生土器といいます。
問2	答え 大化の改新	645年に中大兄皇子や中臣鎌足らが始めた、天皇中心の国づくりを目指す政治の改革を大化の改新といいます。
問3	答え 豪族たち	大和朝廷は、奈良盆地を中心とする大和地方の「豪族」とよばれる有力な人々が連合してつくりました。
問4	答え 貴族	寝殿造は、平安時代の貴族が住むための大きなやしきの建築様式です。
問5	答え 日本の自然	大和絵は、日本の自然を題材にして、貴族のやしきのびょうぶやふすまなどにえがかれました。
問6	答え 鏡や剣、勾玉	石室には、亡くなった人の遺体とともに、鏡や剣、勾玉などが一緒に納められました。
問7	答え 旧石器時代	岩宿遺跡は、打製石器などが発見された、旧石器時代の遺跡です。
問8	答え 天皇	大和朝廷の王である「大王」は、のちの「天皇」にあたる立場の人です。
問9	答え 個人の能力や功績	冠位十二階は、生まれた家柄に関係なく、本人の能力や仕事での功績（がんばりや成果）を基準にして役人を取り立てるための制度です。
問10	答え 冠位十二階	603年に定められた、家柄にとらわれず能力や功績のある人を役人に採用するための12段階の位の制度を「冠位十二階」といいます。
問11	答え 木簡	木に文字を書いて記録する道具を「木簡（もっかん）」といいます。当時はまだ紙がとても貴重で高価だったため、荷物の送り主や中身を書くために木片が使われていました。この木簡のおかげで、当時の人たちがどのような生活をしていたのかを詳しく知ることができます。
問12	答え 万葉集	万葉集は、奈良時代につくられた日本最古（最も古い）の和歌集です。
問13	答え 国司	都の貴族から地方の政治を任された地方の役人のことを国司といいます。
問14	答え 倭王の称号や金印	卑弥呼は中国の魏に使いを送り、交流の証しとして倭王の称号や金印などを授けられました。
問15	答え 清少納言	「枕草子」は、平安時代に清少納言によって書かれた作品です。
問16	答え 厳島神社	広島県廿日市市にある厳島神社は、平清盛が平氏の守り神としてあつく信仰したことで知られる世界遺産です。
問17	答え 打製石器	石を打ちかいてつくった石器を打製石器と呼び、旧石器時代に使われていました。
問18	答え 縄文時代の建物の跡が発見された遺跡	三内丸山遺跡は、青森県にある縄文時代の建物の跡が発見された遺跡です。
問19	答え 仏教の力で国を平和に守るため	当時の日本は、病気やききんなどが続き、社会が不安定でした。聖武天皇は、仏教の教えを大切に、お寺や大仏を建てることで、仏様の力によって国を平穏で幸せな場所にしようと強く願ったのです。
問20	答え 土偶	縄文時代に土で作られた人形のことを土偶といいます。
問21	答え 大王	古墳時代に大和朝廷をまとめていた王は「大王（おおきみ）」とよばれていました。
問22	答え 摂政	天皇を助けて政治を行う役職を摂政と呼び、推古天皇のときに聖徳太子がこの役職に就きました。

---

**問23** **答え**  
都の貴族

国風文化は、藤原氏が栄えたころに都の貴族を中心に生まれた文化です。

---

**問24** **答え**  
国が使うお米を集めて財政を支える仕組み

「租」は農民が苦労して育てた稲の収穫高から納められるものでした。当時の国は、集められた大量の稲を国家の財政を支える大切な資源として活用し、国としての仕組みを整えていました。

---